

社会調査士

「社会調査士」とは

社会調査士とは「社会調査」が「できる人」のことです。

「社会調査」が「できる」ということの意味を考えてみましょう。社会調査は社会学の研究対象である社会について、実態を把握するための道具といえます。社会は様々な考え方の人々によって構成され、いろいろな制度・文化があり、多くの問題を抱えています。これらの多岐にわたる社会現象のどの部分に焦点を当てるにしても、現状を正確に把握することが必要になります。

「社会現象を把握するために、必要な情報を収集・分析し、まとめる一連の過程が「社会調査」である」、とここでは理解してください（より学問的な定義は社会調査方法論で学びましたね）。

幸いなことに、社会調査をどのように実施すれば社会現象の正確な把握ができるかという方法論はすでにほぼ確立されています。みなさんは、社会調査士カリキュラムにそって必要な知識や技能を身につけ、社会調査実習で実際の調査を経験すれば「社会調査士」になることができます。

しかし不幸なことに、社会調査の方法論が世の中では誤って理解されたり、まったく無視されたりしているのが現状です。本来の社会調査方法論を知らずに「アンケート」などと称して社会調査まがいのエセ調査が官庁・企業を問わず至るところで実施され、マスコミで公表されたりしています。正しくない方法で実施された調査結果は信頼性が乏しく、その結果に基づいた政策や企業活動は社会にとって望ましくないことです。

正しい社会調査の方法を知り、ある「調査」が正しい方法でなされたか否かを判断し、調査結果の信頼性を判断できる。さらに、自分で正しい方法に基づいた社会調査を実施できる。この2つの能力を身につけた人が「社会調査ができる人」、つまり「社会調査士」なのです。

2種類の「社会調査士」

松山大学人文学部社会調査士（松山大学版）

松山大学人文学部が認定する資格です。資格取得のためには指定科目単位を修得し、論文審査に合格しなければなりません。

社団法人社会調査協会が認定する社会調査士（全国版の資格）

指定科目単位を修得すれば取得できます。ただし「社会統計学」が必修です。

全国版社会調査士資格取得に必要な科目は、松山大学人文学部社会調査士に必要な科目でほとんどカバーできます。だから、両方の資格取得をいっぺんに目指すことも難しくありません。

2種類の社会調査士に共通する特徴は以下の通りです。

- (1) 社会学科生だけの特権
- (2) 学問分野の特性を生かした資格制度
- (3) 卒業要件以外に、余計に単位を取る必要がない
- (4) 3年間で資格を取得できる

松山大学人文学部社会調査士に必要な授業科目

授 業 科 目		備 考	配当年次	単 位	必要な単位数	修得済	未修得
社会 学	家族社会学	社会学科目	1年	4	16単位 (選択)		
	地域社会学	社会学科目	1年	4			
	メディア論	社会学科目	1年	4			
	社会学原論	社会学科目	2年	4			
	現代社会学	社会学科目	2年	2			
	NPOの社会学	社会学科目	2年	2			
	経済社会学	社会学科目	2年	4			
	産業社会学	社会学科目	2年	4			
	教育社会学	社会学科目	2年	4			
	国際社会学	社会学科目	2年	4			
	環境社会学	社会学科目	2年	4			
	臨床社会学	社会学科目	2年	4			
	社会学史	社会学科目	3年	4			
	社会 調 査	社会調査方法論	学科必修	2年			
計量社会学		社会学科目	2年	4			
社会調査実習Ⅰ		社会学科目	3年	4			
社会調査実習Ⅱ		社会学科目	3年	4			
統計・ 数学・ 情報 処理	社会統計学	社会学科目	1年	4	8単位 (選択)		
	統計学Ⅰ	共通教育	1年	2			
	統計学Ⅱ	共通教育	1年	2			
	数学Ⅰ	共通教育	1年	2			
	数学Ⅱ	共通教育	1年	2			
	コンピュータ概論Ⅰ	共通教育	1年	2			
	コンピュータ概論Ⅱ	共通教育	1年	2			
	統計学総論Ⅰ	関連科目	1年	2			
	統計学総論Ⅱ	関連科目	1年	2			
	経済情報処理Ⅰ	関連科目	1年	2			
	コンピュータ通論	関連科目	1年	4			
	社会情報処理Ⅰ	社会学科目	2年	2			
	社会情報処理Ⅱ	社会学科目	2年	2			
	社会情報処理Ⅲ	社会学科目	2年	2			
社会情報処理Ⅳ	社会学科目	2年	2				

3年次のお勧め履修プラン

(1) 社会学に関する科目

今年度中に16単位以上を修得できるように履修を組みましょう。

(2) 社会調査に関する科目

これらはすべて必修です。

社会調査実習Ⅰ，社会調査実習Ⅱを必ず履修しましょう。

社会調査方法論と計量社会学も、未履修や未修得ならば、履修しましょう。

(3) 統計・数学・情報処理に関する科目

全国版の資格の取得を目指すならば、とにかく社会統計学を履修・修得しましょう。